

神奈川県全域に「まん延防止等重点措置」が発出されたことに伴い、本学のボランティア活動を一部制限します。詳細は次のとおりです。

【活動内容の一部制限】

- ・ 宿泊（友人宅等含む）、飲食を伴うボランティア活動は控えてください。
- ・ 神奈川県外での活動は控えてください。

【会食について】

会食（友人宅含む）での感染が複数発生しています。

活動の打ち合わせや反省会などを兼ねる場合でも、原則会食は控えましょう。

また、水分補給などで一時的にマスクを外す際は発言を控え、感染防止に取り組みましょう。

* ワクチンを2回摂取したとしても、マスクの着用、手指消毒、手洗い、換気の徹底、3密の回避（密閉、密集、密接）など、感染防止対策を徹底してください。

* 大人数（5人以上）での会食、感染リスクが高まる行動は避けてください。

* 4人以下でもマスク会食の実施、マスク会食が困難な場合は、会食自体をやめてください。

【体調が悪いかな…と思ったら】

発熱がなくても、咳の症状や、のどの痛みで陽性が確認されています。思い当たる症状がある場合は、すぐにかかりつけ医などに受診し、PCR検査を受けてください。

また、大学で周知をしていない活動については、自己責任となります。活動先の感染防止対策を確認し、十分留意してください。

※個別にご相談がある場合は、ボランティア支援室のフォームまたはメールにて、お問い合わせください。

横浜市立大学のボランティア活動における
新型コロナウイルス感染防止対策の注意事項

1 ボランティア活動届け出の提出

ボランティア支援室で周知・募集をしている活動は「ボランティア活動届け出」の

提出をお願いしています。届け出をしていない方は、ボランティア支援室までメールで問い合わせください。手続きのご案内をします。

※すでに届け出済みの方は、再度の届け出は不要です。

2 活動を行う際の注意事項

(1) 活動前

■自宅での健康状態を確認しましょう。

特に次の5つの項目を必ずチェックし、1つでも該当する項目がある場合は活動を控えましょう。

- ・ 検温を行い、発熱(平熱以上)がある。
- ・ せきや、のどの痛み、違和感がある。
- ・ 身体のだるさ(倦怠感)を感じる。
- ・ 嗅覚や味覚の異常がみられる。
- ・ 家族、同居する人に発熱や上記の症状がみられる。もしくは感染者がいる。

■団体に感染症対策のルールを確認しましょう。

団体ごとに、感染症対策のルールが異なる場合があります。

自分がしなくてはならない感染症対策があるか、必ず事前に団体スタッフの方に問い合わせをしましょう。

(2) 移動時(自宅←→活動先)

■濃厚接触の回避を心掛けましょう。

できる限り公共交通機関の利用を避けましょう。利用が不可欠な場合は、混雑時を避け、接触感染防止に努めるなど注意をしましょう。

移動中も熱中症に注意をして、マスクを着用しましょう。

※後述「(4) 熱中症について」を参照のこと。

(3) 活動中

■団体スタッフの方に、再度、感染症対策の対応方法について確認をしましょう。

気になることや不安なことがあったら、遠慮せずに聞きましょう。

■自分の健康状態にも気を付けましょう。

せきやのどの痛み、身体のだるさ(倦怠感)を感じたときは、活動を中止し団体スタッフの方へすぐ申し出ましょう。また、すぐ帰宅しましょう。

■石けんでの手洗いやアルコール消毒剤での手指消毒を徹底しましょう。

■屋内で活動する場合、必ず換気をしましょう。

- 3密（換気の悪い密閉空間、多くの人が密集する場所、密接場面での会話）を避けるようにしましょう。また、大人数が一堂に会す場合、活動を複数に分けて活動する、ミーティングなどを行う場合は人との距離を2メートル以上離すなど、密を回避する工夫をして活動しましょう。

3密の対策例

- ・常時、窓や扉を開け、換気を行う。（2方向から）
 - ・人と人との間隔をあける。（マスク着用時最低1メートル）
 - ・施設ごとの利用可能人数の範囲内で活動する。
- できる限り自身の所有物を使用し、貸し借りは行わないようにしましょう。備品を共有する場合は、消毒や手洗いをするようにしましょう。
 - 活動中もマスク着用を徹底しましょう。一時的にマスクの着用が困難な場合は、人との距離（2メートル以上の確保）をとり、手で口や鼻に触れないようにしましょう。（手のひらはウイルスが付着しやすい）また活動中は、大声を出したり顔を近づけて会話をしたりなどは、避けるようにしましょう。

(4) 熱中症について

マスク着用時は熱中症のリスクも高くなります。暑さやほてり、気分が悪くなりそうな場合は、早い段階で人から距離を置いてからマスクを外し、体温を下げるようにしましょう。

また活動中でも定期的な水分補給を心掛けましょう。活動中に水分補給をしても良いか分からない場合は、事前に団体スタッフの方に確認をすると良いでしょう。

(5) 活動後

- 活動後も石けんでの手洗いやアルコール消毒剤での手指消毒を徹底しましょう。
- 活動が終了したら速やかに帰宅しましょう。会食や飲み会などは控えましょう。

3 その他の注意事項

活動先から感染者が発生したときや自らが感染・濃厚接触者の可能性が発生した場合は、すぐに保健管理センター又はボランティア支援室へ連絡してください。

- ・保健管理センター TEL 045-787-2270
開室時間 8:30~17:15（土・日・祝は除く）
- ・ボランティア支援室 TEL 045-787-2444 メール voluntee@yokohama-cu.ac.jp
開室時間 10:00~17:00（土・日・祝は除く）
- ・時間外（大学代表） TEL 045-787-2055